選挙制度改革案の評価（参照）基準案・試論メモ（選挙市民審議会第 2 部門会議に寄せて）

2017.5.24 小澤隆一

1.権利（選挙権）の平等性（equality）

・主権的権利（主権者としての権利）　権利における平等性（egalitarian）

・「成年者による普通選挙」（日本国憲法 15 条 3 項）　普遍性（universality）

・権利行使における平等性＝行使しやすさ（facility）　①投票　②立候補

2.代表の正確性（correctness）

・民意の「反映」としての選挙

　「一票」に込められた民意の平等性　その集積としての代表（者）・議席

・「全国民を代表する選挙された議員」（衆参とも　憲法 43 条 1 項）

・「割れた鏡」　死票　「一票の格差」　ゲリマンダー（恣意の排除）

・（結果としての）代表の多様性

3.代表の公平性（fairness　impartiality）

・（ここでも）「全国民を代表する選挙された議員」（憲法 43 条 1 項）からの要請

・（ただし）「完全平等」の不可能性（困難性）　「公平」性を加味した「平等」性

・地域（region）間の公平

・党派（party）間の公平　特定党派の「ゲットー化」をどう考える？

・ジェンダー（gender）間の公平　バリテ、クォータ制、割当て制

・世代（generation）間の公平　若者の政治参加　ところで「若者の声」とは何？

・金権（money power）の排除　政治資金規正　政治資金助成

　→階級（class）間の公平

・諸社会集団（social group）間の公平　どこまで配慮？　きりがない…

　民族　ethnic group　言語圏　宗教　産業　労働組合　公務員　軍隊　NPO…

・（結果としての）代表の多様性（heterogeneousness）⇔homogeneousness

4.（代表）制度の簡明性（simplicity　clarity）

・制度の簡素さ

・投票－代表関係の明瞭さ・わかりやすさ

・投票の動機づけ・投票への目的意識（incentive）の涵養

5.（代表）制度の確実性（steadiness）・信頼性（credibility）

・制度の趣旨・目的を裏切る結果（政治算術）を生まない

・党派間での中立性（impartiality）　特定党派に有利・不利とならない

・「紛争の種」・「政争の具」とならない

6.政治参加の促進性　民主主義の発展への貢献（democratize）
・小選挙区制　政治参加への否定的影響　政治的無関心の助長
・比例代表制　「（候補者の）顔の見えない選挙」の危険性
・「若者」（young adult）対策　　各種少数派（minority）の政治参加をどう促進するか

7.政策論議の促進性　　選挙の「政治化」・「政策中心の選挙」（politicize）
・「政党よりも人柄」の克服　　政党（政治家）イメージの刷新
・「官僚政治」状況ないし言説の転回　　政官関係の改革

8.代表（と有権者）の近接性（proximity）
・議員総定数（の削減問題）　　適正な総定数　　両院の適正規模
・選挙区の規模
・（比例代表の場合の）ブロック制

9.代表の「有責性」（responsibility）
・「国民代表の政治責任」とは？　　近代議会制と現代議会制
・（比例代表における）党籍と議席　連座制　リコール制

上記 6＋7＋8＋9 の「試金石」としての「原発事故被災地住民&コミュニティ」問題

10.（統治）制度との適合性（matching）
・二院制　　衆参とも「全国民の代表」　「強い第二院」としての参議院
・議院内閣制　　多数派 democracy（単独政権）か　多極共存 democracy（連立政権）か
・地方自治（地方議会）
・政党システム　大衆組織政党（近代政党）の伝統欠如　　市民社会の鏡としての政党

11.憲法適合性（constitutionality）
・選挙権・選挙制度に固有に関わるもの以外の憲法からの要請（選挙制度においてどこまで考慮・配慮するかは要検討）
・自由　とりわけ精神的自由権
・平等　　平等な取り扱い～社会的平等の実現
・社会的公平　　それを含意した公共の福祉（公序）とは？
・平和　　社会的対立・反目の緩和　「対話的正義」の実現